

第16章 災害・消防・警察・海上保安

1	災 害	359
16-1	平成26年中の台風・大雨等による被害状況	360
16-2	市町村別台風・大雨等による被害状況	360
16-3	年次別台風・大雨等被害状況	361
2	消 防	362
(1)	火災発生状況	
(2)	消 防 現 勢	
16-4	市町村別の火災発生状況	363
16-5	月別火災発生状況	363
16-6	原因別火災発生状況	364
16-7	大火災発生状況（損害額2,000万円以上）	364
16-8	消 防 現 勢	364
3	警 察	365
(1)	交通事故発生状況	
(2)	刑法犯発生状況	
16-9	市町村別交通事故発生状況	366
16-10	刑法犯市町村別発生状況	367
4	海 上 保 安	368
16-11	海難事故の発生状況	368
16-12	海上における人身事故	369
16-13	機動力（巡視船艇）	369
16-14	民間救助組織	369
16-15	船舶交通安全協議会	370
16-16	奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況	370
16-17	奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会	370

1 災 害

平成26年は、8月に台風11号・12号、10月に台風18号・19号が奄美地方に接近し、住家等に大きな被害が発生した。

人的被害については、台風12号により奄美市において1名、台風19号により大和村と知名町においてそれぞれ1名の計3名の負傷者が発生した。

被害額については、約10億3千万円となり、前年と比べて約1億4千万円の増加となった。項目別では、農林水産被害が約7億9千万円（被害総額の76.1%）で最も多く、次いで公共土木施設の約1億7千万円（同16.2%）などとなっている。

16-1 平成26年中の台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

期 間	台 風 大 雨 等	人的被害 (人)		住 家 被 害 (棟)					非住家 被 害 (棟)
		死 亡 不 明	負 傷	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
26. 7. 8～ 7. 9	台風 8号	0	0	0	0	12	0	1	5
26. 8. 1～ 8. 2	台風12号	0	1	0	0	19	0	0	2
26. 8. 8～ 8. 9	台風11号	0	0	0	0	0	0	0	0
26.10. 4～10. 5	台風18号	0	0	0	0	26	0	0	39
26.10.10～10.13	台風19号	0	2	0	3	128	0	2	85
合 計		0	3	0	3	185	0	3	131

※期間は、災害警戒本部設置から廃止までの期間である。

16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
期間：平成26年1月～12月
単位：千円

区 分 市町村名	人的被害 (人)	農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
奄 美 市	1	2,135	9,536	23,660	88,695	25,895	149,921
大 和 村	1	302	153,753	0	0	0	154,055
宇 検 村	0	0	0	0	677	3,100	3,777
瀬 戸 内 町	0	5,730	0	0	12,144	200	18,074
龍 郷 町	0	0	0	0	0	0	0
喜 界 町	0	0	0	0	0	0	0
徳 之 島 町	0	5,159	0	369	187,257	0	192,785
天 城 町	0	0	3,679	200	166,631	0	170,510
伊 仙 町	0	0	0	0	0	0	0
和 泊 町	0	80	0	0	139,656	0	139,736
知 名 町	1	0	0	0	141,127	0	141,127
与 論 町	0	1,735	0	576	49,604	10,800	62,715
合 計	3	15,141	166,968	24,805	785,791	39,995	1,032,700

資料：大島支庁総務企画課
 期間：平成26年1月～12月

被 害 金 額 (単位：千円)										備 考 被害地域等
農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	林 産 被 害	畜 産 被 害	水 産 被 害	商 工 被 害	そ の 他	計	
1,053	979	309	101,681	0	0	0	200	1,000	105,222	奄美群島全域
7,375	153,799	601	17,295	0	5,670	0	0	0	184,740	奄美群島全域
0	7,747	1,087	24	0	0	0	0	0	8,858	奄美群島全域
0	0	13,937	99,181	0	1,220	0	1,300	9,130	124,768	奄美群島全域
6,713	4,443	8,871	537,995	0	1,514	21,211	4,734	23,631	609,112	奄美群島全域
15,141	166,968	24,805	756,176	0	8,404	21,211	6,234	33,761	1,032,700	

16-3 年次別台風・大雨等被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：千円

年次	区分	住 家 等	農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
	平成 15		58,387	50,426	306,525	44,757	815,988	126,567
16		—	395,149	2,070,314	327,493	1,669,073	312,971	4,775,000
17		—	226,395	915,665	109,980	127,524	39,612	1,419,176
18		—	17,000	109,597	700	19,380	7,500	154,177
19		—	20,130	333,400	87,607	216,495	47,230	704,862
20		—	34,742	100,547	2,000	682	176	138,147
21		—	26,162	899	6,290	68,897	570	102,818
22		—	3,114,301	2,995,324	388,800	222,117	1,273,876	7,994,418
23		—	1,062,056	1,547,635	500,010	2,052,668	766,042	5,928,411
24		—	1,453,380	2,722,122	604,918	2,339,458	614,400	7,734,276
25		—	261,886	32,450	74,813	363,302	155,350	887,801
26		—	15,141	166,968	24,805	785,791	39,995	1,032,700

(注)「住家等」については、平成16年度以降、集計されていない。

2 消 防

(1) 火災発生状況

平成25年中の火災発生件数は72件で、前年に比べ16件増加しており、約5.1日に1件の割合で火災が発生したことになる。

市町村別では、奄美市が17件（奄美群島全火災の23.6%）で最も多く、次いで、知名町13件、喜界町12件、和泊町7件、徳之島町・天城町各6件、瀬戸内町・与論町各4件、龍郷町3件、大和村・宇検村・伊仙町各0件の順となっている。

人口（平成25年3月31日住民基本台帳による）1万人当たりの出火件数を表す出火率では、知名町の19.9が最も高く、次いで喜界町の15.4、和泊町の9.9、天城町の9.2の順となっている。

火災種別にみると、「建物」火災が34件（奄美群島全火災の47.2%）で最も多いが、前年に比べ2件の減少、次いで「その他」火災（田畑の野焼き等の火災）が31件（同43.1%）で前年に比べ16件の増加、「林野」火災が5件（同6.9%）で前年に比べ5件の増加、「車両」「船舶」火災が各1件（同各1.4%）で、「航空機」火災が0件となっている。

火災による死者は4人で、前年に比べ2人の増加である。また、負傷者は6人で前年に比べ3人の増加となっている。

焼損棟数は69棟で前年に比べ4棟の増加、り災世帯数は45世帯で前年に比べ3世帯の増加、り災人員は78人で前年に比べ26人の減少となっている。

損害額は148,582千円で、前年に比べ11,118千円の減少で、火災1件当たり約2,064千円、1日当たり約407千円が灰になったことになる。

損害額2千万円以上の大きな火災は、奄美市で2件、徳之島町で1件発生している。

出火原因では、「火入れ」が19件（全火災の26.4%）で最も多く、次いで「放火」8件（同11.1%）、「たばこ」5件（同6.9%）、「電灯・電話等の配線」「こんろ」「たき火」各4件（同各5.6%）の順となっている。

(2) 消防現勢

消防本部数は前年と変わらず3本部となっている。消防職員は239人で前年と比べ1人増加し、条例定員に対する充足率は、97.6%である。

また、消防吏員238人の平均年齢は42.0歳となっている。

消防団数は12団、消防分団数は91分団で、ともに前年と同数である。消防団員は、1,545人で前年に比べ7人減少し、平均年齢は41.2歳で条例定員に対する充足率は93.9%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ等の消防機械のうち、ポンプの充足率は100%（平成24年4月1日時点（3年に1回調査））となっており、救急自動車の所有台数は前年と変わらず21台となっている。

また、火災鎮圧のため必要不可欠な消防水利については、平成24年4月1日時点で充足率68%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ及び消防水利充足率の県平均は、平成24年4月1日時点で消防ポンプが91%、消防水利は64%であり、消防ポンプ充足率、消防水利充足率ともに県平均以上となっている。

16-4 市町村別の火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成25年1月～12月

市町村名	出火件数							損害額(千円)							
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
奄美市	17	10	4				3	53,755	53,505		250				
大和村															
宇検村															
瀬戸内町	4	1	1		1		1	6,292	292			6000			
龍郷町	3	2					1	8,388	8,288					100	
喜界町	12	2					10	3,400	3,400						
計	36	15	5	0	1	0	15	71,835	65,485	0	250	6000	0	100	0
徳之島町	6	5					1	25,978	25,900					78	
天城町	6	4					2	1,908	1,872					36	
伊仙町															
計	12	9	0	0	0	0	3	27,886	27,772	0	0	0	0	114	0
和泊町	7	2					5	22,828	22,828						
知名町	13	8					5	25,668	25,436					232	
与論町	4	0		1			3	365			20			345	
計	24	10	0	1	0	0	13	48,861	48,264	0	20	0	0	577	0
合計	72	34	5	1	1	0	31	148,582	141,521	0	270	6000	0	791	0
平成24年	56	36	0	5	0	0	15	159,700	158,418	0	920	0	0	333	29
比較	16	△2	5	△4	1	0	16	△11,118	△16,897	0	△650	6000	0	458	△29

市町村名	焼損棟数					り災世帯数				死傷者			損害面積		1件当たりの損害額(千円)
	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	り災人員	死者	負傷者	建物床面(m ²)	林野(a)	
奄美市	26	10	1	5	10	25	8	2	15	42	2	3	548	249	3,162
大和村															
宇検村															
瀬戸内町	4	3		1							1		95	40	1,573
龍郷町	12	8		3	1	4	2		2	7	1		322		2,796
喜界町	2	1		1		1		1		1	1		90		283
計	44	22	1	10	11	30	10	3	17	50	3	5	1,055	289	1,995
徳之島町	7	3	1	1	2	3	1	1	1	6		1	197		4,330
天城町	4	1		2	1	2			2	5			53		318
伊仙町															
計	11	4	1	3	3	5	1	1	3	11	0	1	250	0	2,324
和泊町	3	2		1		3	2		1	4	1		455	30	3,261
知名町	11	5	1	3	2	7	3	1	3	13			799	5	1,974
与論町															91
計	14	7	1	4	2	10	5	1	4	17	1	0	1,254	35	2,036
合計	69	33	3	17	16	45	16	5	24	78	4	6	2,559	324	2,064
平成24年	65	30	3	16	16	42	19	1	22	104	2	3	2,890	71	2,852
比較	4	3	0	1	0	3	△3	4	2	△26	2	3	△331	253	△788

※火災種別が2以上複合する火災は、焼き損害額の大なるものの種別に計上。

16-5 月別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成25年1月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	13	10	1	3	6	4	6	7	6	5	6	5	72
前年件数	1	5	10	2	4	3	4	3	7	11	3	3	56
増減数	12	5	△9	1	2	1	2	4	△1	△6	3	2	16

16-6 原因別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成25年1月～12月

順位	(1)	(2)	(3)	(4)	(4)	(4)	(7)	(7)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)					—	—	—
	火入れ	放火	たばこ	電灯・電話等の配線	こんろ	たき火	火遊び	ストーブ	交通機関内配線	風呂かまど	取灰	放火の疑い	かまど	焼却炉	電気機器	電気装置	配線器具	灯火	マッチ・ライター	その他	不明・調査中	計
件数	19	8	5	4	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8	9	72
前年件数	6	1	3	4	7	5	1	0	0	1	0	1	1	0	1	4	3	2	1	7	8	56
前年順位	(2)	(9)	(6)	(4)	(1)	(3)	(9)			(9)		(9)	(9)		(9)	(4)	(6)	(8)	(9)	—	—	—
増減数	13	7	2	0	△3	△1	1	2	1	0	1	0	0	1	0	△4	△3	△2	△1	1	1	16

16-7 大火災発生状況（損害額2,000万円以上）

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成25年1月～12月

出火月日	出火時刻	市町村名	火元の用途	原因	焼損棟数	り災世帯	り災人員	死者	負傷者	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)
1月1日	8:40	徳之島町	住宅	放火の疑い	1	1	3	0	1	108	21,862
1月25日	0:05	奄美市	住宅	不明	14	13	20	1	0	342	25,846
2月5日	10:05	奄美市	共同住宅	火遊び	1	5	12	0	0	76	23,201

16-8 消防現勢

資料：鹿児島県消防保安課
期日：平成26年4月1日

区分 市町村名	消防団 (消防本部)		消防団(職員)			消防ポンプ等							消防水利				
	団・本部数	分団数	条 例 定 数	現 員	平 均 年 齢	自 防 動 車 数	ボ 水 ポン プ 自 動 消 防 車 数	付 は 消 防 自 動 消 防 車 数	小 型 動 力 ポ ン プ 数	救 急 自 動 車 数	そ の 他 数	ボ ン プ 充 足 率	消 火 栓 数	防 火 水 そう 他 数	そ の 他 数	充 足 率	
奄美市	1	16	452	408	42.9	8	2	-	37	5	-	3	-	431	144	30	-
大和村	1	5	52	50	39.5	1	0	-	9	-	-	-	-	28	9	-	-
宇検村	1	7	77	77	41.8	1	1	-	7	-	-	1	-	6	31	2	-
瀬戸内町	1	4	130	121	47.1	1	1	-	15	36	-	-	-	65	65	4	-
龍郷町	1	4	153	145	41.6	2	3	-	2	7	-	-	-	47	67	5	-
喜界町	1	10	130	127	39.7	2	2	-	7	1	-	2	-	-	129	5	-
大島地区消防組合	1	-	158	157	40.5	2	5	2	-	-	13	14	100	-	-	-	69
徳之島町	1	11	161	155	41.3	2	5	-	10	2	-	0	-	30	92	11	-
天城町	1	3	80	80	43.0	1	1	-	1	2	-	2	-	57	58	16	-
伊仙町	1	8	74	67	41.5	1	1	-	-	2	-	2	-	31	52	1	-
徳之島地区消防組合	1	-	49	46	43.7	-	3	-	-	-	4	1	100	-	-	-	64
和泊町	1	7	120	117	39.4	1	6	-	2	1	-	2	-	-	82	-	-
知名町	1	13	145	130	36.4	0	7	-	5	-	-	-	-	119	129	4	-
与論町	1	3	72	68	40.6	2	3	-	-	-	-	1	-	64	75	29	-
沖永良部与論地区広域事務組合	1	-	38	36	41.8	-	2	-	-	-	4	4	100	-	-	-	70
(本部)	-	-	245	239	42.0	2	10	2	-	-	21	19	100	-	-	-	68
計	団12	91	1,646	1,545	41.2	22	32	-	95	56	-	13	-	850	952	116	-

注1 消防職員の平均年齢は消防吏員の平均である。
注2 ポンプ充足率及び消防水利充足率は、平成24年4月1日時点（3年に1回調査）の数値である。

3 警 察

(1) 交通事故発生状況

平成26年の交通事故の人身事故発生件数は、251件で前年に比べ3件減少した。

交通事故による死者は10人で、前年に比べ4人増加、傷者については262人で35人減少した。

件数を市町村別にみると、奄美群島で件数の最も多いのは奄美市の108件（全体の43.0%）で、次いで徳之島町の27件（同10.8%）となっている。また、島別に件数の割合をみると、奄美大島が147件58.6%、喜界島が15件6.0%、徳之島が58件23.1%、沖永良部島が26件10.4%、与論島が5件2.0%となっている。

死者は、知名町で3人、奄美市、大和村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、伊仙町で各1人の合計10人で、前年に比べ知名町が3人増加している。

人口1万人当たりの死傷者数は、龍郷町が41人、伊仙町が30人となっており、最も少ないのは宇検村の0人となっている。

(2) 刑法犯発生状況

平成25年の刑法犯の総認知件数は、521件で前年に比べ33件の増加となっている。

市町村別にみると件数が最も多いのが、奄美市の232件（全体の44.5%）で前年と比べると1件の増加、次いで徳之島町の57件（10.9%）で前年と同数となっている。

罪種別にみると、窃盗犯が360件（全体の69.1%）と犯罪の大部分を占めている。

なお、検挙件数は207件となっている。

16-9 市町村別交通事故発生状況

期間：平成26年1月～12月
 単位：人，件，台数

区分 市町村名	人口	件数 (人身)	死者	傷者	前年比増減			車両台数			人口1万人 当たりの 死傷者数
					件数 (人身)	死者	傷者	原付・自二 特殊農耕	自動車	合計	
総数	112,823	251	10	262	-3	4	-35	24,231	79,341	103,572	24.1
奄美大島	62,593	147	4	156	-3	1	-25	9,989	39,364	49,353	25.6
奄美市	44,125	108	1	117	-2		-10	7,542	26,776	34,318	26.7
大和村	1,631	1	1		-2	1	-4	105	1,110	1,215	6.1
宇検村	1,792				-4	-1	-5	142	1,402	1,544	—
瀬戸内町	9,162	15	1	16	-6	1	-11	1,531	5,718	7,249	18.6
龍郷町	5,883	23	1	23	11		5	669	4,358	5,027	40.8
喜界島	7,432	15	1	15	7	1	6	1,681	5,639	7,320	21.5
喜界町	7,432	15	1	15	7	1	6	1,681	5,639	7,320	21.5
徳之島	24,308	58	2	62	-4	-1	-11	5,136	20,440	25,576	38.7
徳之島町	11,516	27	1	27	-4	-1	-5	2,522	8,702	11,224	24.3
天城町	6,231	14		16	-1		-5	1,443	5,788	7,231	25.7
伊仙町	6,561	17	1	19	1		-1	1,171	5,950	7,121	30.5
沖永良部島	13,243	26	3	23		3	-3	5,186	10,489	15,675	19.6
和泊町	6,836	8		8	-5		-5	2,620	5,594	8,214	11.7
知名町	6,407	18	3	15	5	3	2	2,566	4,895	7,461	28.1
与論島	5,247	5		6	-3		-2	2,239	3,409	5,648	11.4
与論町	5,247	5		6	-3		-2	2,239	3,409	5,648	11.4

注1 人口は平成26年10月1日現在推計人口（県統計課資料）
 2 件数，死者，傷者は平成26年12月末現在（県警察本部交通企画課）
 3 車両台数は平成26年3月末現在（運輸局資料，各市町村への個別調査結果）
 4 奄美大島には，加計呂麻島，請島，与路島を含む。

16-10 刑法犯市町村別発生状況

資料：鹿児島県警察本部刑事企画課
期間：平成25年1月～12月

市区町村	包括罪種		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	総計	平成24年 の状況
奄美市	認知		1	22	159	8	2	40	232	231
	検挙		1	19	61	10	2	7	100	116
大和村	認知		0	0	2	0	0	1	3	4
	検挙		0	0	1	0	0	0	1	0
宇検村	認知		0	0	1	0	0	0	1	2
	検挙		0	1	0	0	0	0	1	1
瀬戸内町	認知		3	3	23	1	0	6	36	34
	検挙		3	3	13	1	0	3	23	25
龍郷町	認知		0	1	16	1	0	2	20	15
	検挙		0	0	6	1	0	1	8	11
喜界町	認知		0	4	8	0	0	9	21	23
	検挙		0	1	3	0	0	2	6	13
徳之島町	認知		1	2	40	1	0	13	57	57
	検挙		1	3	9	1	0	1	15	18
天城町	認知		0	5	26	2	0	6	39	32
	検挙		0	5	1	1	0	1	8	12
伊仙町	認知		0	0	24	0	0	4	28	27
	検挙		0	0	11	0	0	2	13	13
和泊町	認知		0	2	40	0	0	5	47	26
	検挙		0	3	9	0	0	1	13	5
知名町	認知		2	2	9	2	0	6	21	25
	検挙		2	1	1	1	0	5	10	7
与論町	認知		0	1	12	2	0	1	16	12
	検挙		0	1	7	1	0	0	9	6
総計	認知		7	42	360	17	2	93	521	488
	検挙		7	37	122	16	2	23	207	227

※検挙件数については、発生地計上方式をとっている。

包括罪種の内訳

- 凶悪犯……殺人，強盗，放火，強姦
- 粗暴犯……暴行，傷害，脅迫，恐喝など
- 窃盗犯……窃盗
- 知能犯……詐欺，横領，偽造など
- 風俗犯……賭博，わいせつ
- その他の刑法犯……上記以外の刑法犯

4 海上保安

奄美海上保安部管内において、平成25年に発生した船舶海難は、18隻であり前年に比べ7隻増加した。

種類別に見ると機関故障、乗揚、運航阻害の順となっている。原因別では、船体機器整備不良、操船不適切、居眠り運航などの人的ミスによるものが大半を占めている。

また、平成25年の人身事故者数は30名であり、昨年と同数であった。事故種類別としては、昨年と変わらず、遊泳中の事故割合が高く、遊泳や磯遊びを行う場所についての知識不足や技能不足が主な原因で、群島外からの観光客や帰省客による事故が多く発生した。

海難発生時の救助活動は時間との闘いでもある。よって広い奄美の海域では、漁協や海上工事業者などを主体とする民間救助団体の組織化及びその協力は不可欠である。これらの状況を踏まえて、「水難救済会と論救難所」が、平成7年に設置されたのを契機として、平成14年までに奄美群島内の全市町村に救難所が設置され、救助活動を実施している。

さらに、漁業組合やプレジャーボート関係者等を母体として組織された各地区小型船交通安全協議会の海上安全指導員は、海上における小型船による海難事故の未然防止を図るための活動を実施している。

名瀬港長（奄美海上保安部長）は、名瀬港内における船舶交通の安全及び港内の整とんを図るため、海上工事や行事許可、危険物荷役の許可、入出港届の受理などを行っている。また、海上保安部は、毎年、奄美群島の各漁業協同組合の総会に出席し、海難防止講習会を行うほか、大島支庁が実施する漁船登録の検認に同行し、漁船に対して海難防止指導を実施している。

奄美海上保安部の管理する灯台は、管内で最古の曾津高崎灯台（明治29年11月初点）を初めとする沿岸灯台18基、その他の防波堤灯台・導灯・指向灯・照射灯20基の合計38基がある。そのうち約半数は太陽電池化及びLED化されている。

また、奄美海上保安部では「海の情報」を提供する業務を行っている。平成15年2月からMICS（沿岸域情報提供システム）により、奄美群島の沿岸を航行する船舶・漁船やマリレジャーを楽しむ人々へ向けて、海の安全に関する情報（灯台で観測された気象情報、ライブ映像、海上工事の計画情報等）をインターネット・ホームページ（携帯電話を含む。）で提供しているほか、自動メール配信サービスを行い、海難の未然防止を図っている。

16-11 海難事故の発生状況

資料：奄美海上保安部

(ア) 要救助船舶隻数等の推移

項目	年	平成23年	平成24年	平成25年
海 難 隻 数 (隻)		12	11	18
死 亡 ・ 行 方 不 明 者 数 (人)		0	1	6

(イ) 船舶海難の種類別内訳

(隻)

種 類	衝突	乗揚	転覆	火災	浸水	機 関 故 障	推 進 器 障 害	運 航 阻 害	行 方 不 明	そ の 他	合 計
平 成 2 3 年	0	3	3	0	0	4	0	1	0	1	12
平 成 2 4 年	2	4	1	0	0	2	0	1	0	1	11
平 成 2 5 年	0	4	0	0	0	5	2	4	1	2	18

16-12 海上における人身事故

資料：奄美海上保安部

(ア) 人身事故者数の推移

(人)

項目	年	平成23年	平成24年	平成25年
事故者数		31	30	30
死亡・行方不明者数		11	15	13

(注) 死亡・行方不明者数は、事故者数の内数

(イ) 人身事故の種類別内訳

(人)

年	船舶乗船中の人身事故					海浜事故				合計
	海中転落	負傷	病気	中毒	その他	遊泳中	磯遊び中	磯釣中	その他	
平成23年	0	3	4	0	0	5	3	3	13	31
平成24年	2	5	0	0	1	3	2	1	16	30
平成25年	0	3	2	0	0	9	0	1	15	30

16-13 機動力（巡視船艇）

資料：奄美海上保安部

期日：平成25年12月31日

船名	所属	総トン数	航行区域	就役年月
あまぎ	奄美海上保安部	1320	近海	平成22年3月
かいもん	奄美海上保安部	220	近海	平成16年4月
いそなみ	古仁屋海上保安署	149	近海	平成56年3月
ぱるさあ	古仁屋海上保安署	4.7	沿海	平成8月3月

16-14 民間救助組織

資料：鹿児島県水難救済会

期日：平成25年12月31日

設立年月日	組織の名称	代表者	住所	救助勢力
平成7年1月31日	与論救難所	南政吾	鹿児島県大島郡与論町茶花32-1	人員 51名
平成9年1月30日	和泊救難所	伊地知実利	鹿児島県大島郡和泊町和泊10	人員 30名
平成9年1月30日	知名救難所	平安正盛	鹿児島県大島郡知名町知名307	人員 40名
平成10年7月7日	喜界救難所	川島健勇	鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地	人員 92名
平成11年8月12日	天城救難所	大久幸助	鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1	人員 62名
平成12年11月1日	伊仙救難所	大久保明	鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842	人員 102名
平成13年5月28日	龍郷救難所	徳田康光	鹿児島県大島郡龍郷町浦110	人員 240名
平成13年12月1日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 住用支所	朝山毅	鹿児島県奄美市住用町大字西仲間111	人員 21名
平成13年12月27日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 笠利支所	朝山毅	鹿児島県奄美市笠利町大字中金久141	人員 54名
平成14年1月1日	宇検村救難所	元田信有	鹿児島県大島郡宇検村湯湾915	人員 135名
平成14年3月4日	大和救難所	伊集院幼	鹿児島県大島郡大和村大和浜100	人員 193名
平成14年4月1日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 名瀬支所	朝山毅	鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8	人員 70名
平成14年4月1日	瀬戸内救難所	房克臣	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23	人員 194名
平成14年7月1日	徳之島町救難所	高岡秀規	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203	人員 61名

(注) 奄美市救難所各支所の上段の年月日は改組前のもの

16-15 船舶交通安全協議会

資料：奄美海上保安部
期日：平成25年12月31日

組織の名称	会員数	設立年月日	主な活動海域
奄美地区小型船交通安全協議会	50名	昭和49年12月17日	奄美大島（奄美市名瀬）
瀬戸内町小型船舶交通安全協議会	66名	昭和57年10月6日	奄美大島（瀬戸内町）
奄美群島瀬渡船安全対策協議会	12名	昭和60年7月29日	奄美大島（奄美市名瀬）
沖永良部島・和泊地区小型船交通安全協議会	40名	昭和60年7月29日	沖永良部島周辺海域
喜界島地区小型船交通安全協議会	54名	平成5年9月27日	喜界島周辺海域
与論島地区小型船交通安全協議会	50名	平成5年9月27日	与論島周辺海域

16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況

資料：奄美海上保安部
期日：平成25年12月31日
単位：基

市町村別	区分	灯	台	導	灯	指	向	灯	照	射	灯	計
(奄美大島)			15		1					1		17
奄美市			7		1							8
大和村			1									1
宇検村												
瀬戸内町			6									6
龍郷町			1							1		2
(喜界島)			4		1							5
喜界町			4		1							5
(徳之島)			5		1					1		7
徳之島町			2		1					1		4
天城町			2									2
伊仙町			1									1
(沖永良部島)			2		2			1				5
和泊町			1		2							3
知名町			1					1				2
(与論島)			2		1			1				4
与論町			2		1			1				4
合 計			28		6			2		2		38

(注) 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会

資料：奄美海上保安部
期日：平成25年12月31日

会長名	事業所名	加入団体数	設立年月
中田留弘	奄美ダイビングセンターとめ	43	平成元年4月